

手足口病の流行が  
始まっています。

神奈川県が発生数が非常に多いわけではありませんが、足柄上地区の統計では先週60件といわれています。3才児までで47件です。相当出ています。

**\*手足口病とはどんな病気ですか？**

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子供を中心に、主に夏に流行します。例年、報告数の90%前後を5才以下の乳幼児が占めています。病気の原因となるウイルスは、主にコクサツキーウイルス、エンテロウイルス(EV71)で、その他、コクサツキーウイルスA10などが原因になることもあります。

**\*どのように感染するのですか？**

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染することです)が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団感染をし

ている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。子供達同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい環境であることや、衛生観念がまだ発達していないことから、集団感染が起こりやすいためです。また、乳幼児では原因となるウイルスに感染した経験のない者の割合が高いため、感染した子供の多くが発症します。



**\*どのような症状が出ますか？**

感染してから3〜5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2〜3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。しかし、まれですが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出ることもあります。また、手足口病の典

型的な症状がみられずに重症になることもありますので注意が必要です。なお、近年、コクサツキーウイルスA6感染により手足の爪の脱落を伴う症例も報告されていますが、自然に治るとされています。手足口病にかかったこどもの経過を注意深く観察し、合併症に注意をする必要があります。



**\*どんなことに注意しますか？**

手足口病には有効なワクチンはなく、また手足口病の発病を予防できる薬もありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合があります。これらのことから、発病した人だけを長期間隔離しても有効な感染対策とはならず、現実的でもあ

りません。前述したように、衛生観念がまだ発達していない乳幼児の集団生活施設では、施設内での感染の広がりを防ぐことは難しいです。しかし、手足口病は、発病しても、軽い症状だけで治ってしまうことがほとんどであるという意味で、感染してはいけない特別な病気ではありません。これまでほとんどの人が子供の間にかかって、免疫をつけてきた感染症です。

一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。特に、保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、職員とこども達が、しっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。手洗いは流水と石けんで十分に行って下さい。またタオルの共用はしてはいけません。



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

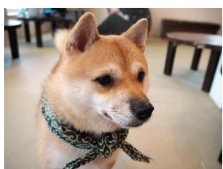
☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

7月・8月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp

2019年8月

休診のお知らせ

日曜・祝祭日	休診	水曜日	土曜日	午後休診
8/10 (土)	○	8/11 (日)	祝	
8/12 (月)	振替休日	8/13 (火)	休診	
8/14 (水)	休診	8/15 (木)	休診	×
8/16 (金)	休診	8/17 (土)	平常通り診療します。	